

平成23年度東通村漁業連合研究会通常総会開催



挨拶をする伊勢田会長

1月16日(日)、むつ市内において平成23年度東通村漁業連合研究会(伊勢田啓二会長、白糠)通常総会が開催されました。

開会にあたり、3期(6年)に亘り東通村漁業連合研究会の役員として、本村水産業の振興と漁業連合研究会の発展に寄与された、野牛漁業研究会 杉本喜代志 氏に伊勢田会長から表彰状と記念品が贈呈されました。

その後、伊勢田会長の挨拶に続き、越善靖夫村長より「つくり育てる漁業の推進をはじめ、漁民の視点に立った水産政策を着実に展開し、若者が魅力と誇りをもって、漁業に就業できるような、活力ある漁村形成のため今後とも漁業振興策を展開してまいります」との祝辞が述べられました。

また、南川誠一村議会議長より祝辞が述べられた後、議事に移り、平成22年度事業報告及び収支決算、平成23年度事業計画と収支予算の承認、また任期満了に伴う役員改選で野牛漁業研究会の三國孝司氏が新会長として承認されました。

総会最後には、青森県指導漁業士で尻労漁業研究会長の川端昭也氏から『生産者による消費者への鮮魚直接販売の取り組み』と題し、自身が取り組んでいる鮮魚直接販売での問題点とその解決法についての講演がありました。



祝辞を述べる越善村長



講師 川端昭也 氏

表彰された杉本 喜代志 氏
(野牛漁業研究会)

三國孝司 新会長

会員の皆さんは、実践から得られた鮮魚直接販売についての大変有意義な講演に、真剣に耳を傾けていました。

第26回むつ・下北地区 子ども会郷土芸能発表会



3人心を合わせて踊りました!

(左から石田智也くん、蒲惣悦くん、宮下昂大くん)

2月6日(日)、下北文化会館において、第26回むつ・下北地区子ども会郷土芸能発表会が開催され、むつ・下北地区の子ども会8団体が出演し、各地域に伝わる、神楽や獅子舞、祭囃子などを披露しました。

東通村からは、蒲野沢子ども会が出演。蒲惣悦くん、石田智也くん、宮下昂大くんの3名が、『三番叟』を一生懸命に舞い、会場から大きな拍手をもらっていました。